



会 期：2016年10月26日～11月2日
会 場：NHK放送センター（東京・渋谷）
主 催：NHK
対 象：内外の教育コンテンツ関係者
公式サイト：<http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>
総来場者数：916人
出展参加国と地域数：58の国と地域

■開催内容

「日本賞」は教育コンテンツの質の向上と国際理解の促進を目的として1965年にNHKが創設した国際コンクール。43回目となる今年は世界58の国と地域から316の作品と企画が寄せられ、一次審査を通過した作品を、世界12の国と地域から招かれた国際審査委員12人が審査を行った。

会期中には、一次審査通過作品を上映し、制作者と参加者が交流するイベントや、メディアや教育の最前線で活躍する専門家が議論する制作者会議のほか、制作者向けの実践的なワークショップを実施し、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式では「グランプリ日本賞」ほか受賞作品が発表され閉幕した。



1. エントリー

316作品（コンテンツ部門282、企画部門34）が58の国と地域からエントリーされた。うち初参加の機関・団体は97団体。

2. 主な受賞作品

コンテンツ部門 グランプリ日本賞

「消えたブロッカー”アミナ”」

エスペラモス、カナダ国立映画制作庁（カナダ）

企画部門 最優秀賞

「未来は私のもの」

ドゥルーパッド・コミュニケーションー教育発達メディア（バングラデシュ）



3. 授賞式（11月2日 放送センター 101スタジオ）

各賞の受賞者、審査委員（12か国・地域12人）、参加者、各賞授与団体（総務省、文部科学省、外務省、経済産業省、東京都 他）、大使館関係者など220人の出席者を迎えて実施した。司会はミュージシャンでタレントの国分太一さんと、NHKの塚原愛アナウンサー。



4. 関連番組

「ドキュメント日本賞 世界の教育コンテンツ2016」

2016年11月20日（日）15:00-15:59 NHK Eテレ

「まるごと見せます! 世界の教育コンテンツ ～日本賞2016～」

2016年12月31日（土）13:15-17:00 NHK Eテレ

■2016年度の新規取り組みとその成果・特色など

コンクールのうち、デジタルコンテンツを対象とした「クリエイティブ・フロンティアカテゴリー」の一次審査通過作品を参加者が自由に操作しながら制作者と交流できるコーナーを新設し、世界トップクラスの教育コンテンツを“体感”できるようにした。また長年にわたって世界中で教育コンテンツの開発支援を続けているプロデューサーをアメリカから招き、制作者向けのワークショップを開催。参加者の国・地域や専門性が偏らないようなグループに分かれて教育番組のプランを作る作業をしてもらい、日本賞の会場で初めて出会った仲間たちと交流を深める機会を作った。

